

## 田町商店街でコーヒースタンド

宮内珈琲 宮内 峻平さん

田町商店街のJOY201横で毎週日曜日に営業している東田町コーヒースタンド。手がけるのは、越ヶ浜出身の宮内峻平さん。社会福祉士の資格を持ちながら、今年4月に独立開業し、この世界に飛び込んだ。先月からは毎週土曜日にバイクハウスオータニでの営業を開始するなど、意欲的な取り組みが続いている。

コーヒーに興味を持ったのは学生時代。市内の老舗カフェテリア・異人館のリニューアルに関わったのがきっかけ。豆の種類や焙煎・抽出の技術など、その奥深さに魅了さ

れた。ある時、異人館の先輩から「自分でやってみないか」と声をかけられ、自分が焙煎した豆を使っイベントに出展。「おいしい」といつてもらえる喜びを知った。



## 宮内珈琲

■東田町コーヒースタンド (JOY201横)

営業：毎週日曜日午前8時～午後5時

■バイクハウスオータニ (萩市土原611-53)

営業：毎週土曜日午前11時頃～午後3時L.O.

大学卒業後、資格を生かせる職場に就職したものの、コーヒーに対する思いが高まって今年3月に退職。知人の紹介もあり、田町での営業が決まる。「商店街ににぎわいや安らぎを提供する一助になれば」という思いもあった。

今の焙煎機は1回300gの手回し式。週末のために平日の1日を焙煎に充てる必要がある。当初は豆1種類のみのだったが現在は深煎りと浅煎りの2種類を用意。客の好みに応じて提供している。使う豆も月毎に変えるが、同

じ豆でも日によって加減が必要なのが焙煎の世界。「初めての豆などは失敗することもある。経験を積み技術を磨かなければ」と現在地を語る。生豆の価格も上昇しており「自家焙煎を諦めなければならぬ時が来るかも」と不安も抱えるが、「どんな形でも『宮内珈琲は美味しい』といってもらえる味を築き上げたい」と前を向く。

## シリーズ華夷弁別

— 若者たちの挑戦 —

華夷弁別とは中国から来た言葉で、吉田松陰は弟子たちに「その地でがんばればそこが中心となる」と教えた。番組では、萩阿武地域で活躍している人に密着取材。  
放送時間：月曜～日曜 午後7時～ほか

## 萩高と商工高統合、分校募集停止

## 県立高校再編で県教委が説明会

県立高校14校を7校に減らす再編計画を公表した県教育委員会は、先月までに県内各地域で再編計画に関する説明会を開いた。

説明会は、10月27日に萩市民館、11月4日には阿武町町民センターで開かれた。県教委の担当者が平

成18年度から取り組んできた再編整備の状況などを紹介した上で、後期計画の内容を説明した。

10月に公表された県立高校再編整備計画後期実施計画(素案)では、県内の14校を7校に再編統合する方針。萩・阿武地域では、萩高校と

萩商工高校を統合し、普通科と文理探究科、商業および工業に関する学科を有する新高校を設置するほか、萩高校奈古分校の募集停止が盛り込まれている。

新高校は、萩高校の校地を活用し令和12年度(2030年度)に開校する計画。

これに対し、説明会の参加者から「萩商工高校の校舎をそのまま活用できないか」といった意見が出た。これを受けて県教委は「時限的な活用の可能性はあるものの、再編統合の効果を考えれば別キャンパス制は現実的ではない」と考

えており、萩商工高校の校地については市への払い下げを含めて今後検討するという。

また、奈古分校の募集停止については具体的な時期が示されていないが、計画期間である令和15年度(2033年度)までには実施されるものとみられる。

県教委では12月22日(月)まで、素案に対するパブリックコメントを行っており、寄せられた意見をふまえてより具体的な実施計画を策定する方針。